



生きものを探そう！

私たちのまわりには、たくさんの生きものがいて、いろいろな場所に生きもののすみかがあります。生きものを探しに出かけてみてください。家のまわり、公園、林、水辺・・・



同じ場所でも、季節によって見られるものはちがうから、ふだんから身近な自然に目を向けると発見があるかも！

観察会へGO！



- もしもにそなえて**
- ▶ 子どもがふだん行かない場所に生きものを探しに行くときは、大人と一緒に行く。
 - ▶ ハチの巣やへビに気を付けよう。ハチは甘いにおいや黒い服に寄ってくるよ。
 - ▶ 生きものを探しに夢中になりすぎて事故にあわないよう、車や自転車に気を付けよう。
 - ▶ 山や畑、花壇など、勝手に入ってはいけない場所もあるから、注意しよう。

希少な生きもの

市内には昔からの自然が残っている地域があり、60種類以上の絶滅危惧種をはじめ、希少な生きものが生きています。環境の変化により、生息域や数が減少しているものもいます。

スナヤツメ

泥底できれいな水の流れにすむ。幼生期は目がなく、成虫になると消化器官がなくなるとも食べない。

ムカシツナギエル

山間部の小川や水路、水田などに生息している。遺伝子解析により新種とされた。

オオタカ

樹林に生息し、大きな木に巣を作る。ハトなどを食べる。

タマノホシザクラ

多摩丘陵の南にのみ生息している。山間などの草地に生息し、近年新種とされた。

ホンドギツネ

夜行性で、ネズミ、ウサギ、昆虫などを主に食べる。
写真：東京なまじ域資源循環組合

23区では見られなくなっていますが、多摩丘陵の樹林には生息しています。タヌキが都市に移動しているのに対し、ギツネは街では暮らせないようです。



市内の外来種

他の地域からやってきた外来種は、もともといた在来種を食べたり、エサやすみを奪ったりします。その結果、地域の生態系のバランスが崩れるなど、様々な影響を与えているといわれています。

アライグマ

野菜、ごみ、ペットのエサをあさる。田舎で、餌えなくなつた個体が野生化した。

ミシシippアカミガメ

目の後ろに濃い後眼がある。「ミドリガメ」と呼ばれ、ペット用に輸入されたものが放された。

アメリカザリガニ

水草を切断し、水生昆虫や魚類を捕食する。ウシガエルのエサとして持ち込まれた。

ウシガエル

食用として持ち込まれた大型のカエル。口にすれば、ほとんどの動物を食べてしまう。

ブルーギル

淡水魚で雑食。他の水生生物を捕食する。食用に輸入されたものが放された。

アレチウリ

川沿いに繁殖し、川岸の草を覆って枯らせてしまう。生育スピードがとて速い。

オオキンケイギク

緑化に使用され、全国的にひろまっている。繁殖力が強く、荒地でも育つ。

アメリカオニアザミ

鋭いトゲと強い繁殖力をもっている。1mを超す高さにもなる。

アカボシゴマダラ

市内全域で見かけるようになった。人為的な放散が原因といわれている。

ガビチョウ

声が大きく、複雑な節回しでさえずる。ペットとして輸入された。

ハクビシン

鼻から鋭い臭いがある。農作物や畜舎の害獣などの被害がある。水辺に得意。

ムネアカハアリロカマキリ

これが食われるところでは、在来種のハラビロカマキリの数が減るといわれている。

勝手に持ち去らない、むやみに捕まえない。などのルールを守り、まちだの生きものとその生息環境を大切にしましょう。

いろいろな生きものが、暮らしている環境を守っていきましょう。

外来種による被害を予防するために

入れない！
捨てない！
放さない！

生きものを飼うときは、成長後の大きさや性格、寿命などを調べて、最後まで飼うことができるかをよく考えよう。飼ひ始めたら、最後まで責任をもって飼育・管理しよう。

生きものをすくも守る

町田市の自然は、昔から人の暮らしとともにあり、人の手が入ることで環境が保たれてきました。市内には、自然とふれあいが環境を守って活躍している人たちがいます。



みなさんができること

外に出て、生きものを探しましょう。イベントや活動へ参加しましょう。生きもののすみか「ビオトープ」を作ってみましょう。

もっと知りたい方は・・・
ホームページで「生きものの情報」を発信しています。

町田市ホームページで「生物多様性」と検索

まちだ生きもの探しのマップ
編集・発行：町田市環境資源部環境共生課
所在地：〒104-8502 町田市野崎2-2-22
TEL：042-724-4391 FAX：050-3160-5478
2024年12月第4版発行 発行部数：24-42
印刷：株式会社 武蔵堂

まちだの環境

里山や谷戸の緑

市の北部には、谷戸という深い谷の地形があり、畑や草地、湿地、まとまった大きな樹林などいろいろな環境があります。



- 緑のあそび場所**
- | | | | |
|---------------------------|---------------|------------------|--------------------|
| 1 A-1 Nature Factory 東京町田 | 7 F-2 野津田公園 | 13 F-3 芹ヶ谷公園 | 19 F-5 鶴間公園 |
| 2 A-1 大戸緑地 | 8 G-3 こどもの国 | 14 F-4 原町ふるさとの森 | 20 F-3 ひなた村(日向山公園) |
| 3 B-1 相原中央公園 | 9 E-2,3 忠生公園 | 15 F-3 成瀬山ふるさとの森 | 21 G-2,3 三輪緑地 |
| 4 C-1 小山内裏公園 | 10 F-4 金森峯山緑地 | 16 F-3 かの山木山自然公園 | |
| 5 E-2 小山田緑地 | 11 F-1 真光寺公園 | 17 G-3 成瀬奈良谷公園 | |
| 6 F-2 町田薬師池公園四季彩の杜 | 12 F-1 真光寺緑地 | 18 F-3 南大谷公園 | |

街中のまとまった緑

住宅地でも、昔からの林や草地などを残した緑地や、緑の豊かな公園があります。緑が多いほど、いろいろな種類の生きものがいます。



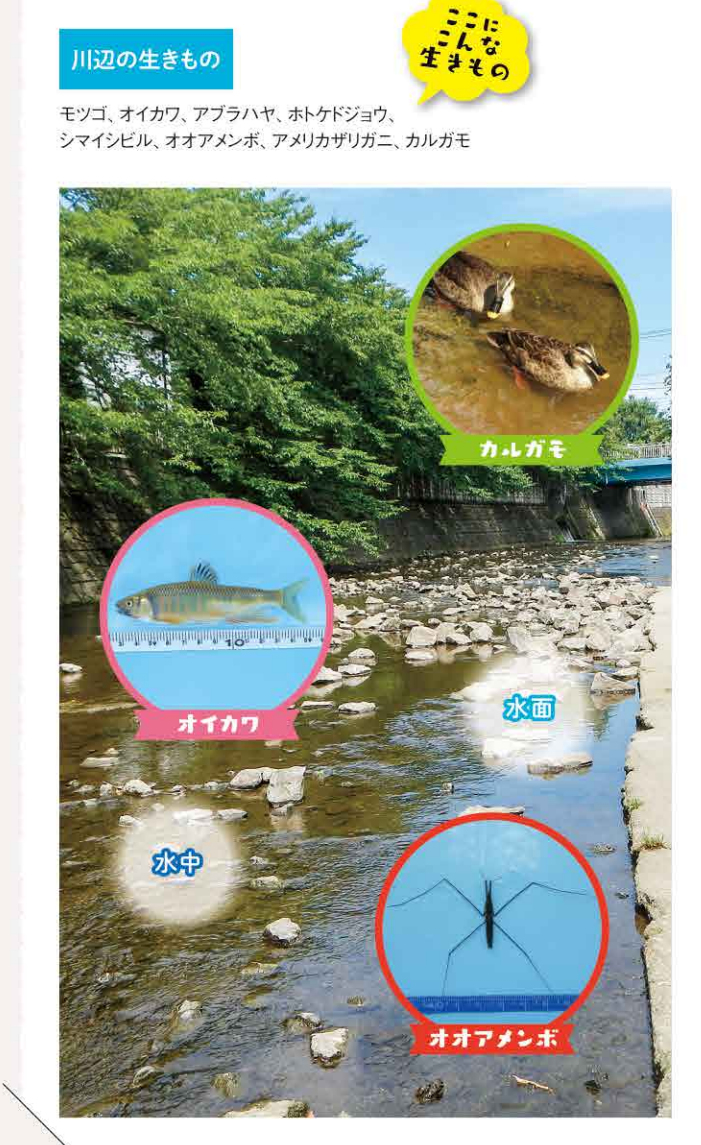
里山や谷戸の川

源流の近くでは、川や水路は里山や郊外の住宅地・耕作地を流れています。川幅はせまく、水辺には植物が生えています。



街中の川

川は市内の下流の方で住宅地を通ります。街中の川は、上流に比べると水辺の植物が少なく、川幅が広がり、コンクリートで護岸されています。



街中

駅やそのまわりの商店街、住宅地など、人も建物も多い場所です。里山などに比べると乾燥していて、街路樹や小さな公園、家の庭などに小さな緑があります。



市の鳥 カワセミ

青緑色の体にだいたいの色のおなか、青いくちしが特徴の高くて、まっすぐ飛ぶ姿は宝石のようです。水中にダイブして魚をとることで、市内の水辺で見ることが出来ます。

この図に掲載している生きものの写真の一部は、生きもの調査(生きもの発見レポート)で報告されたものです。